

学校支援会報

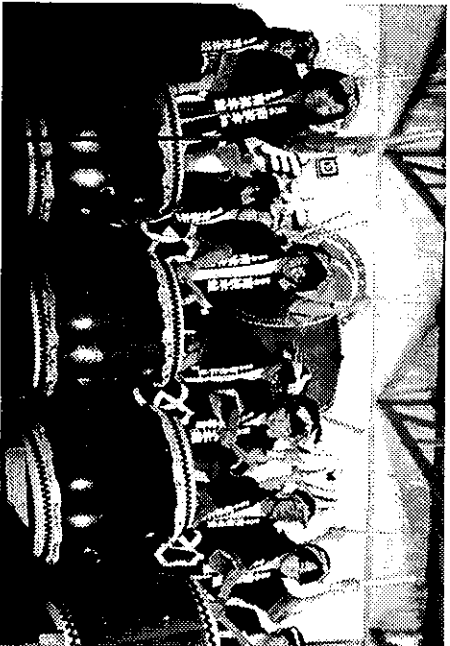
■平成27年12月11日発行 第8号 ■編集 一関市学校支援室根地域本部事務局(一関市室根市民センター内TEL:0191-64-2347)

完全燃焼 室中太鼓!

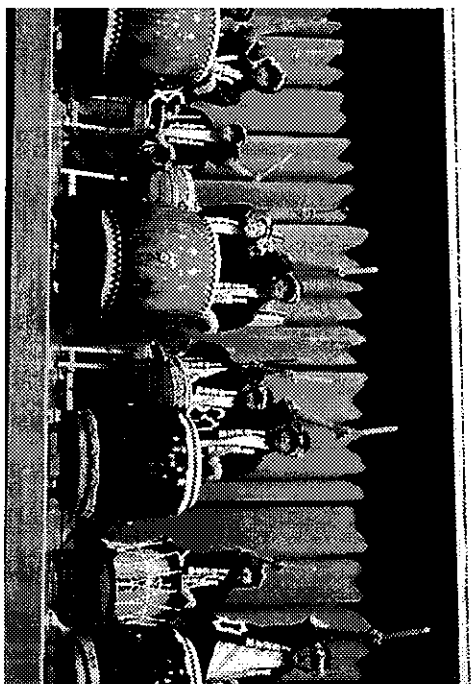
室根中学校では、今年も希望者による「室中太鼓」の取り組みが行われました。今年もむろね南流太鼓の奥野幸市さんにご指導いただき、7月6日から計21回の練習を積み重ねてきました。

10月24日に行われた室根大祭協賛行事の創作太鼓フェスティバルで初披露。続けて同31日の室根中学校文化祭、11月1日のむろね音楽会、同8日のむろね産業文化祭芸能発表会と4つのステージで練習の成果を発表した生徒たち。力強い太鼓の音が会場中に響き渡りました。

「先輩たちの姿を見て自分もやってみたい」「小学生の時にやっていたので中学でもやってみたい」と多くの生徒たちが参加。慣れない太鼓の楽譜やリズム、腕の上げ方や打ち方など覚えることはたくさんありましたが、何度も練習するうちにコツをつかみ、楽しく参加していました。「今回初めて太鼓をたいてみて、間違えてばかりだったけれど良い経験になった」「鐘の音をしっかりと聞き、つられないように同じリズムをただくのは苦労した」と練習での苦労を話していました。



創作太鼓フェスティバルで緊張の初披露



むろね音楽会でも力強い演奏を披露しました

本番で生徒たちは「始めはバラバラだった音も一つになって、とても感動しました」「みんな声も出ていたし、自分も一生懸命声を出して良い思い出になったので本当に良かった」「最初の本番ですこい達成感がありました。気持ちを一つにしてつくり上げる吹奏楽と同じように、太鼓もそうなんだなあと思いました。太鼓で学んだことを生活でも生かしたい」「大変だった練習を乗り越えて最高のものをつくりあげることができた。一番の思い出に残りました」と、室中太鼓の活動を通して感動や喜びを感じていました。

分りやすいと面白く、ときには厳しく指導に当たった奥野さん。「本番が近くなるにつれてみんなの集中力が高くなっていき、私もみんなに負けないよう練習しました」と話していました。生徒たちからも感謝の声が多く聞かれ、楽しみながら実りの多い活動ができたようです。お忙しい中にご指導いただいたほか、太鼓の運搬や準備などにもたくさん協力いただきました。ありがとうございました。

震災 自分たちができることは?



震災の様子を伝える橋本さん

室根中学校の「復興教育講演会」が11月25日に行われました。語り部ボランティアの橋本茂善さん(気仙沼観光光コンベンション協会事務局長)が、震災時の気仙沼市内の映像などを流しながら「震災復興語り部講話」を行いました。

映像では、勢いよく押し寄せる津波の速さや流される家屋の様子、海上が火に包まれている火災の様子など、当時の凄まじい状況が映し出されました。さらに「津波クイズ」と題し、津波についてわかりやすく説明してくださいました。「指示を待っていないでダメ! 自分でいち早く「地域の人たちで声かけをして一緒に助け合う」「明日はわが身と心がけ」など、被災時の心かけや震災から学んだことを教えてくださいました。

また、現在進められている、かさ上げ工事や防朝堤建設工事、気仙沼大島大橋、気仙沼湾横断橋などの復興に向けての明るい話題なども紹介されました。最後に生徒会長の鈴木那知さんが「震災からもうす

5年経とうとしていますが、今、自分たちは何一つ不自由なく生活することができています。今日の話を聞いて、あらためて地震の恐ろしさ、命の尊さを感じ、今の生活がいかに幸せなことを感じる事ができました。震災を風化させないために今日の講演で聞いたことを忘れず考えていくことで、自分たちにできることは何かしっかりと考えていくことが復興につながるのではないかと思います。」と感想とお礼の言葉を述べました。お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。ありがとうございました。



映像や写真で被害の様子が説明されました



安全見守り ありがとう♪

室根東小学校で11月6日、恒例の校内ロードレース大会が行われました。低学年1km、中学年2km、高学年3kmのそれぞれのコースに挑戦。晴れ空の下、沿道には保護者や祖父母の皆さん、地域の方々、子どもたちの快走に声援を送っていました。

快走には浜瀬沢体育協会の遠藤貴文さんに協力を依頼、子どもたちのペースに合わせて、励ましながら伴

子どもたちを励ましながら快走

走していただきました。コースの安全見守りには小山美代子さん、小松栄江子さん、小松陽子さん、小野寺由紀さん、小山信子さん、菅原洋子さんが、オレンジ色のボランティアシャツを着用しコース各所で安全確保に協力していただきました。子どもたちは沿道の声援を受けて快走。練習の成果を十分に発揮し新記録が3つ生まれました。今年も事故もなく終えることができました。ご協力ありがとうございました。

